

なお、平成22年12月現在で、「市民活動情報等登録制度」に登録している市民活動団体数は279団体となっている。分野別にみると、次のような団体がそれぞれの分野で活動している（1つの団体が複数分野に登録している場合がある）。

分野別市民活動登録団体数（平成22年12月現在）

分野	団体数	分野	団体数
保健・医療・福祉	51	男女共同参画関係	18
社会教育関係	19	子どもの健全育成活動関係	48
まちづくり関係	20	情報化、科学技術活動関係	8
文化・芸術関係	71	経済活動、職業能開発関係	3
スポーツ・健康増進関係	50	消費者の保護活動関係	3
環境保全関係	27	市民活動の連絡、連携、支援活動	28
災害救援・地域安全関係	0	その他	5
人権・平和・国際交流関係	23		

資料9 組織診断

交野市職員に対して、「モラル・サーベイ」「個人属性」「組織風土」「リーダーシップ」の4つの組織診断調査を実施した。その結果から得られた特徴を整理すると次のようになっている。

長所	<ul style="list-style-type: none"> ・上司と部下の間や同僚の間でコミュニケーションがとれており、人間関係が円滑である。 ・仕事にやりがいや責任を感じているため向上心を持って職務に取り組んでいる。 ・このことから目標設定に対しても柔軟に対応できる。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の説明や指導が詳細でないため、仕事の役割を何ですべきか自覚が持てず、職場の出来事にも対応しきれていないと考えられる。 ・真面目な人が報われないと職員が感じているのは、努力をしても認められない環境にあるといえる。 ・これによって運営方針に不満を持つ職員が多い。
今後の方向付け	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価と能力を取り入れた人事制度 2. 管理職の意識改革の必要性 3. 仕事に対して最低限の設備導入
改善案	<ol style="list-style-type: none"> ①上司が部下に対して詳細な指示・指導を行う必要性 ②成果と能力の評価を取り入れた人事制度の実施 ③運営方針について職員にもわかりやすく説明する ④仕事に対して最低限の設備導入

作業主体：摂南大学羽石研究室 実施時期：平成21年7月～8月
調査対象：交野市役所各職場の職員及び非正規職員

資料10 住宅ならびに住宅地に対する価値意識

交野市の既成市街地に居住する市民の住宅や住環境に対する価値意識を把握するアンケート調査を実施した。「住み替え時に重視する立地項目」「満足度の高い住環境項目」「これからの住宅地に求める姿」について、上位3項目となった結果を地域別に示すと次のとおりである。

		いわふね	くらじ	みょうけん	きさべ	ほしだ
重視する立地項目	1	公共降雨通機関の利便性	夜間の安全性	空気のきれいさ	最寄り駅からの距離	緑の豊かさ
	2	買物医療施設の充実	空気のきれいさ 最寄り駅からの距離	緑の豊かさ	夜間の安全性	空気のきれいさ 前面道路の交通量
	3	空気のきれいさ 最寄り駅からの距離	公共交通機関の利便性 地域イメージ	前面道路の交通量	公共交通機関の利便性	夜間の安全性
住環境項目	1	緑の豊かさ	住宅の広さ	緑の豊かさ	交通の利便性	緑の豊かさ
	2	日当たりや通風	日常の買い物	空気のきれいさ	日常の買い物	空気のきれいさ
	3	住宅の広さ	日当たりや通風	外部からの騒音・悪臭	医療施設の便利さ	風景の美しさ
求める姿	1	公園や広場を増やし歩道や街路樹を整備する	子どもための環境整備を行う	住宅の個性を重視しつつ調和のある街並みを創る	公園や広場を増やし歩道や街路樹を整備する	公共交通機関の充実を図る
	2	住宅の個性を重視しつつ調和のある街並みを創る	公園や広場を増やし歩道や街路樹を整備する	公園や広場を増やし歩道や街路樹を整備する	住宅の個性を重視しつつ調和のある街並みを創る	公園や広場を増やし歩道や街路樹を整備する
	3	公共交通機関の充実を図る	自転車利用に便利で、歩行者に安全な整備を行う	子どもための環境整備を行う	子どもための環境整備を行う	子どもための環境整備を行う

作業主体：摂南大学木多研究室 実施時期：平成21年8月～9月
調査対象：交野市内5か所に居住している世帯から各200世帯を無作為抽出

資料11 住宅地の特性と魅力的な将来像

交野市の住宅地において「立地する事業所の業種」「角地における建物形態」「行動誘発要素」「店舗ファサード」「座り場」「アクティビティ」の6項目について実態調査を行い、他都市他地区と比較しながら、その特徴と将来像を検討した。

タイプ	住宅地系（飲食系が少なく、生活密着施設が多い）
角地の建物形態	住宅系（戸建て住宅が圧倒的に多い）
行動誘発要素 店舗ファサード	交野は多くみられるが、他の地区にはほとんどない。
座り場（座ることができる場所・ベンチなど）	交野は店舗設置タイプが多い。妙見・星田は行政設置タイプがほとんどである。河内磐船は行政設置タイプのみ、倉治は、行政設置タイプと店舗設置タイプがあるが、両者とも数は少ない。タイプの似た箕面や宝塚南口と比較して圧倒的に数が少ない。
アクティビティ（活動している人がいる）	本調査日においては、妙見、星田で多くみられた。

作業主体：摂南大学 実施時期：平成21年8月～9月
調査対象：交野市内5か所（交野、河内磐船、倉治、妙見、星田）